

manabiya bootto
まなび舎ボート



まなび舎ポートとは

まなび舎ポートはこどもたちにとって、安心して自分らしく過ごすことのできる、家でも学校でもない「第3の居場所」であるとともに「たくましく自分の人生を生きる力」が育まれる学び舎・遊び場です。

放課後「ぼーっと」できる余白がたくさんある。
やりたいことをみつけたら、とことん「没頭」できる。

挑戦してもいい。何もしなくてもいい。
「ありのままの自分」でいられる場所。

生きることは、遊ぶことは、学ぶこと。

こどもが持つ個性は1人ひとりちがっていて、どの子も無限の可能性を秘めています。私たちはこどもたちの“ありのまま”を大切に、それぞれのペースで成長していくことを見守り、全力でサポートしたいと考えています。

そして彼らが「ポート」のように、自らの力で漕ぎ自分の人生を切り拓いてくれたらと願っています。



まなび舎ボートがめざすこと

Vision

一人一人の持つ心と力が発揮され、
今も未来も、より良く生きられる社会をつくる

Mission

こどもたちが安心して過ごすことができ、
存分に遊び、学ぶことのできる放課後の場をつくる

そだつ、のびる。6つの心と力

主体的に学び続ける
自分ごととして考える
深く掘り下げる
チャレンジする
おもしろがる

探究する心

伝える力

心を動かす
伝わるように伝える
根拠づける
自分の言葉を持つ
説明する

多面的な視野を持つ
つながりを意識する
自分の価値観を持つ
自分の考えを持つ
知識を自分のものにする

多様な
価値観

生み出す力

やり抜く
工夫する
ふりかえる
実行する（やってみる）
自分なりのアイデアを持つ

相手を尊重する
対話する
聴く・理解する
信念を持つ
“自分”を知る

思いやる心

やりとり
する力

ともに作りあげる
折り合いをつける
他者と協働する（コラボする）
信じる
共感する

■活動拠点：スペース海山時間

築80年超の古民家には、のびのびと過ごすことができるスペースと、キッチンや和室があります。お庭には、畑や掘りやすい土、ピザ窯があり、置かれた材木や水鉄砲などがこどもたちの創造力を刺激します。

余白に満ちた場で、こどもたちはその日、時間にやりたいことを自分たちで選び、それぞれの時間を過ごしています。



■本気で遊べる場所

まなび舎ポートでは「これはしちゃだめ」という制限はほとんどありません。大人に都合のよいルールの中で過ごすのではなく、自分たちで考えて行動する。日々、汗をいっぱいにかけて、思いつき笑って遊ぶ。「いま」を思いつき生きるこどもたちの姿が、そこかしこで見られます。



■まち全体が、学びの場

学び・遊びの種は、地域や自然の中にたくさんあります。自然の中を歩き、手に触れたり、匂いをかいだり。街の中を歩き回ったり、地元の人にインタビューしてみたり。そんなフィールドワークをどんどん行い、「本物に触れる実体験」を積み重ねていきます。



できること

■主体的に過ごす時間

こどもたちが主体で、いろいろなプロジェクトが生まれていきます。自分たちで、いま、何をしたいのかを自分で考えて、選択し行動する。その積み重ねが自立につながっていきます。

予定“不”調和で、だからこそワクワク感に満ちた、豊かで面白い放課後の時間が生まれていきます。

■「やってみたい！」が実現できる場所

WEBや動画アプリなど、たくさんの情報や“答え”に満ち溢れている現代。だからこそ、好奇心に駆られたことや疑問に感じたことは**まず、自分たちでやってみる**。「これ、やりたい！」

「いいね、やってみよう！」がどんどん生まれていきます。体験した分だけ、そして失敗した数だけ、自身の確かな手ごたえとして、経験と知恵が身についていきます。何かのめり込み、**夢中**で取り組むこどもたちの表情は、充実した時間を過ごしていることの現れです。



■仲間と関わり合いながら過ごす日常

学年を超えて、学校を超えて。

まなび舎ポートだからこそその「仲間」と出会えるのも魅力です。

仲間といっしょにワイワイやりとりする。

考えやアイデアを持ち寄り、みんなで取り組む。

その中で、相手との関わり方も自然と育まれていきます。



こんなこと、しています！（日常）



お庭の木のぼり！



近所の公園で思いっきり遊ぼう！



いろんな理科実験をしよう！



流しそうめんをしよう！



おやつを自分たちで作ろう！



身近な自然を観察しよう



地域の方とのふれあい！



カメラを手にまちたんけん！



七輪でいろいろ焼いて食べよう

こんなこと、しています！（日常）



火起こしをしよう！



海に行って遊ぼう！



お庭にあるミントやみかんで
ジュースをつくろう



ペットボトルロケットを
つくって飛ばそう！



思いっきり水遊び！



山に登って遊ぼう！



みんなでいろいろ
挑戦しよう！



木工をしよう！



魚をさばいて食べよう！

であう。かかわる。

■「きっかけ」に出会う

まなび舎ボートでは日々、様々なプロジェクトが繰り広げられます。
探検、探究、理科実験、ものづくり・・・様々な体験を通じて、心が動くこと、ハマるものに出会っていきます。



■大人との関わりも楽しい

ボートのスタッフはいつも子どもたちと全力で遊び関わります。
「ねえ、一緒に遊ぼう！」友達でも先生でもない「ナナメの関係」です。



「非日常」の体験は出会いと成長のチャンス

ボートでは週末や長期休みに様々な場所へ繰り出します。海キャンプ、山登り、工場見学、アスレチック、博物館・・・子どもたちはいつもと違う表情を見せてくれます。日々の暮らしの中で触れられないような場所へ行くという特別感やワクワクも合わさっているのでしょう。ふだんできない体験をし、それを仲間と共有する。1日、2日でぐっと成長する姿を目の当たりにしています。



こんなこと、しています！（非日常：長期休みなど）



やさと農場キャンプ！



ハロウィン！
地域のお店を回ろう♪



川崎夢パークへ行こう！



三浦半島海キャンプ！



「ほんもののお店」
をひらこう！



丹沢川キャンプ！



葉山の川へ遊びに行こう
(川の源流探検)



まちたんけんに行こう！
(横浜・横須賀など)



みんなでおもちつきを
しよう！

スケジュール

毎週 月曜日・水曜日 13:30~19:00

※学校の早帰り等についてはご相談ください

※長期休みは朝8:00からのお預かりも行います

1日の流れ (通常)

13:30~
15:30ごろ

●ボートに到着「ただいま！」

学校から直接帰って来る子も、
いちど家に帰ってから来る子もいます。

16:00ごろ

●おやつ時間

果物やお菓子。手作りすることもたくさんあります。
みんなで「いただきます！」

16:15~
17:45

●やりたいことをとことんやる ●仲間と遊びに没頭する

公園や海に出かけたり、ものづくりや遊びに熱中したり。
季節ごとの行事やプロジェクトにみんなで取り組むことも。

17:45~
19:00

●お迎え・帰宅

事前にやり取りの上、1人で帰ることもできます。

ご利用にあたって

1. 募集定員

月・水曜とも各曜日レギュラー30名

スポット（1日利用）の定員数は、その日の状況やプログラム等によって異なります。

2. 入会条件

- (1) まなび舎ボートの運営方針に賛同して頂けること。
- (2) 新小学1年生から6年生までのお子様。

3. 入会までの流れ

◆STEP1：入会説明会（日程が合わない場合や年度途中の場合等は応相談）

◆STEP2：入会申し込み・手続き

提出が必要な書類：入会申込書

- ・入会申込書に必要事項をご記載の上、まなび舎ボートまでご持参、もしくは下記住所までご郵送ください。

郵送先： 249-0001 逗子市久木5-4-30 まなび舎ボート 辻義和 宛

- ・入会金・年会費について、下記までお振込ください。

お振込先： 振込先：三井住友銀行 逗子支店 普通
口座番号：6881554
口座名義：まなび舎ボート 代表 辻義和

4. 営業時間

平日月・水曜日 13:30～19:00 （長期休み期間については8:00～19:00）

※短縮授業などの際は、帰宅時間にあわせての開所となります。

※週末の学校行事等の振替休日は都度ご相談となります。

5. 避難場所

非常災害時の指定避難場所は逗子市立久木小学校です。

6. 退出時のお迎えについて

会員の安全保護の観点から、予め指定された保護者様以外にはお引渡いたしません。

- (1) 事情により指定以外の方がお迎えされる場合には、必ず事前にお知らせ下さい。
- (2) ファミリーサポートセンター等のお迎えは事前にご相談下さい。

7. 傷病時の対応について

活動中の傷病防止には最善の注意を払いますが、万一の発生時は保護者様に連絡し以下の対応をします。

- (1) 怪我に関しては、まずは応急処置のみ行わせていただきます。
- (2) 病気に関しては、安静処置のみとし、市販薬の与薬は行いません。
- (3) 症状が重篤と思われる場合は、近隣医院の受診または救急車の手配を行います。
※場合によっては保護者様に早めのお迎えをお願いすることもあります。
※アレルギー、既往症、投薬の必要（与薬依頼書が必要）等がある場合は予めお伝えください。

8. 免責について

お子様または保護者様の以下の行為により発生した損害に関しては一切の補償を行わないものとします。

- (1) 会員の健康状態等に関して事前のご相談やご連絡がない状態で発生した損害等。
- (2) まなび舎ボートからお子様1名での帰宅・習い事への移動時に発生したトラブルや損害等。
- (3) 会員の持ち込んだ現金・高価品・装飾品・玩具・文具等の損害や紛失に関する一切の問題。
- (4) 会員同士の現金や物品の貸し借りに関する一切の問題。
- (5) まなび舎ボートの管理外で発生した会員または保護者同士のトラブル。

9. 学級閉鎖、休校時等の対応について

地震、台風等に伴う休校が実施された場合、登校出来ない会員に限り午前中から保育を行います。

ただし以下の場合はお預かりすることが出来ません。

- (1) インフルエンザ等の感染症の大規模な流行に伴う学級閉鎖・休校等。
- (2) 会員が、インフルエンザ等の感染症を発症している、または発症の恐れが高い場合。
- (3) 東海大地震警戒宣言等、激甚災害が予想される事態に伴う休校等。
- (4) 台風、地震等で施設が被害を受け安全な活動が実施出来ない場合、または予想される場合
- (5) 自然災害等によりまなび舎ボートスタッフが100saiに来られない場合。
- (6) その他会員の身体生命に危険が及ぶと予想される場合。

10. 写真等の取り扱いについて

記録用等の目的で撮影したお子様の写真を、各種印刷物やブログ、ホームページ、SNS等に掲載させていただく場合があります。掲載が難しい等ございましたら、ご入会の際にお伝えください。

11. 会員情報、レギュラー/スポット種別、利用曜日等の変更について

入会後の住所・連絡先等の変更やレギュラー/スポットの変更の際は前月の5日までを目安にスタッフまでご連絡ください。

12. 退会について

退会の際は前月の5日までにお知らせください。退所届等の手続きは必要ありません。

以下の場合には自動的に退会となります。

- (1) 小学校を卒業した時
- (2) 利用料金の支払いの遅延が続いたとき
- (3) 会員または保護者様にまなび舎ボートの運営に支障があると判断される行為が認められた場合。
※月途中の退会であっても、当月分の料金は返還できません。

ご利用料金

■入会金 16,500円 (税込)

※過去または現在、まなび舎ポートをご利用のごきょうだいがいらっしゃる場合、入会金0円となります。

■年会費 5,500円/年 (税込)

※ごきょうだいで利用されている場合、下のごきょうだいの年会費を3割引いたします。

■月謝・利用料金

<小1>

週1回レギュラー：13,000円 (税込) スポット：4,200円/日 (税込)

週2回レギュラー：18,500円 (税込)

<小2>

週1回レギュラー：12,000円 (税込) スポット：4,000円/日 (税込)

週2回レギュラー：17,000円 (税込)

<小3>

週1回レギュラー：11,500円 (税込) スポット：3,800円/日 (税込)

週2回レギュラー：16,000円 (税込)

<小4>

週1回レギュラー：10,500円 (税込) スポット：3,700円/日 (税込)

週2回レギュラー：15,000円 (税込)

<小5～6>

レギュラー：8,000円 (税込) スポット：2,500円/日 (税込)

※ 13:30～19:00のお預かり+おやつ代の料金として

※ 長期休暇中の詳細については別途ご案内となります。

※ 登録曜日以外の日にお越しになる場合は、別途スポット料金をいただきます。

※ ごきょうだいでご利用の場合、2人目以降の月謝（金額の低い方）を3割引いたします。

■施設維持費 400円/月 (税込)

※100sa維持管理・補修費/管理費等に充当します

■時間外料金

・朝からお預かりの場合 (8:00～13:30)

小1～4：4,000円/日 (税込) 小5～6：2,500円/日 (税込)

※時間外料金等の追加料金も月謝と合わせて口座引き落としとなります (明細に追加)

<お支払方法>

毎月5日頃に明細を保護者アプリにてお送りします。20日頃に口座引き落としとなります。

運営スタッフ



辻 義和 (つじちょう)

まなび舎ボート代表

1981年生まれ、神戸大学卒。大学時代に大手個別指導塾で300人の指導を経験。システムエンジニア、教育コンサル企業を経て、2012年より学童保育・学習塾が一体化した居場所・学び舎「ネクスファ」を千葉県柏市でスタート（現在も代表として運営）。在住している逗子市で2017年に「まなび舎ボート」を立ち上げる。子どもたちにとっての豊かな放課後と、遊びと学びについて探究し続けている。妻と子ども2人の4人暮らし。保育士。



桑原 みなみ

(みなみちゃん)

逗子市出身、在住。もともと幼稚園の先生をしていました。ボート初年度からの関わりで、子どもたちへの愛情に満ちあふれています。



浅野 萌

(もえちゃん)

普段は哲学対話や子ども哲学の仕事をしています。長くボートに関わってくれている、子どもたちからもスタッフからも頼られる存在です。



塚本 佳江

(たねちゃん)

逗子在住。前職は小学校の教員。ボートに通うお子さんの保護者でもあります。こどもの「好き！」に寄り添う、温かい眼差しの持ち主です。



加藤 萌絵

(かとちゃん)

鎌倉市在住。普段はからむしという植物から糸を績む仕事をしています。子どもたちを優しく見守り、関わってくれています。



田坂 あす香

(あっかちゃん)

逗子在住。演劇指導の仕事をしていて、ボートに通うお子さんの保護者でもあります。ボートの日常を素敵な動画や言葉で紡いでくれています。



石井 貴久

(たかちょ)

逗子市出身、在住。子どもたちと等身大で思いっきり遊び、話をするお兄さん。ボート初年度から関わってくれています。

お問い合わせ

090-7882-9719 込

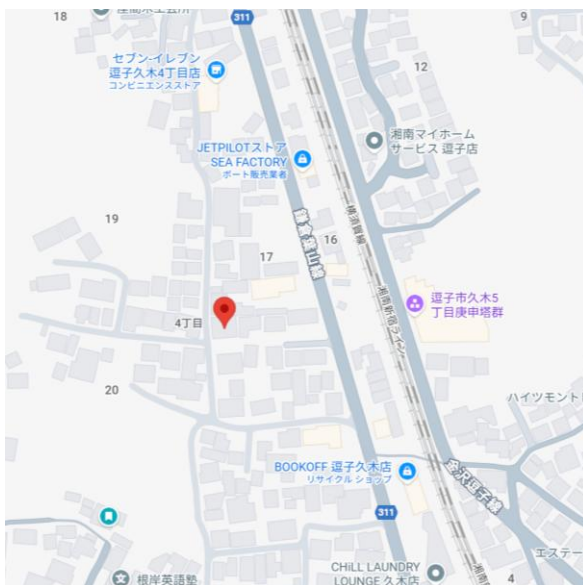
manabiya.bootto@gmail.com

まなび舎ボート

検索

<実施場所>スペース海山時間

逗子市久木4丁目17-12



SNS 日々の様子やイベント情報などを発信しています。ぜひフォロー下さい！

Facebook



Instagram

